②第１分科会

起業教育新規導入ワークショップ
「高校生のための起業教育ワークブック」活用ワークショップ

大阪商業大学　総合経営学部経営学科教授
起業教育委員会　副委員長　粂野博行

１．はじめに

本稿は第15回起業教育研究会の第１分科会でおこなった大阪商業大学起業教育研究会『高校生のための起業教育ワークブック』（以下、『ワークブック』とします）の活用ワークショップについて報告致します。

この第１分科会では、『ワークブック』を授業で活用していただくことを目的に、入門編として毎年開催しております。つまりこのワークブックをどのように使用すれば教育現場に取り入れられるか、ワークブックに掲載されているワークシートを使いながら、実際に教員の皆様にワークに取り組んでいただくものです。今年も12名の先生方が参加されました。

２．『ワークブック』作成の背景

実際の取り組み内容に入る前にこの『ワークブック』ついて説明をしておきたいと思います。この『ワークブック』は、大阪商業大学の教職員と、起業教育に関心のある高校の先生方によって組織された「大阪商業大学起業教育研究会」によって作成されたものです。大阪商業大学では、高校生を対象に新しい商品やサービス、ビジネスプランを募集・表彰する「ビジネスアイディア甲子園」を平成13年より実施しております。この研究会は、第１回目の「ビジネスアイディア甲子園」のあと、高校の先生方から起業教育に関するワークブックを作ってほしいというご意見が寄せられたのを受け、高校の先生方と大阪商業大学の教員でワーキンググループを作り、研究会での議論を経て、この『ワークブック』が作成されました。

３．起業教育に対する考え方

ワークショップでは、実際に『ワークブック』を使用しながら、起業教育を学んでいただくことを目的としております。そこでまず参加者の先生方に知っていただいたことは、本研究会における「起業教育」の考え方です。

今回使用した『ワークブック』の序文では起業教育について、次のよう

に書かれています。

「私たちの考える起業教育は、会社をつくるとか、社長になるとかという狭義のものではなく、アントレプレナーシップの涵養、すなわち「起業家精神」と「起業家的な資質・能力」をもった人材を育成することを目標としたものです。そして、「起業家精神」とは、チャレンジ精神、創造性、積極性、探究心であり、「起業家的な資質･能力」とは、自己責任で決断する能力やリーダーシップ、コミュニケーション能力、情報の収集･分析能力・それに基づく判断力、問題解決能力や行動力であると考えています。」

4．ワークショップ

1）『ワークブック』の内容

この『ワークブック』は全体で12章から成り立っていますが、もう少し大きく分けると、第１編　導入編「起業家精神を育てる」、第２編　基本編「商品企画に挑戦！」、第３編　応用編「新しい課題に挑戦！」、第４編 技術



編「商品企画に関する技術」の４つに分けることができます。

これは普通科高校、商業高校など学校の違いを問わず、またカリキュラムの変更などに応じることのできるように、取り組む内容から４編に分けたからです。つまりこのワークブックは第１編の導入編から順番に使用することもできますが、授業内容に応じて第２編　基本編「商品企画に挑戦！」や第３編　応用編「新しい課題に挑戦！」、だけでも使用していただけるようにしております。第４編 技術編「商品企画に関する技術」は各章に取り組む際、使用すると効率よく学習できるような技術（パソコンなど）をまとめてあり、各章の学習と併せて適宜使用できるようにまとめてあります。

２）『ワークブック』の使い方

この『ワークブック』は授業に活用していただくために、一般的な内容を説明している部分に加え、「学習のねらい」や「教員用解説」があります。それに加え、学生用の配付資料として直接プリントアウトできる「ワークシート」も章末に掲載されています。

解説とワークシートは連動しておりますので、教員の先生方は「学習のねらい」や「教員用解説」を読んだ上で、ワークシートを配布し、生徒たちに作業をして貰いながら指導することが可能になります。

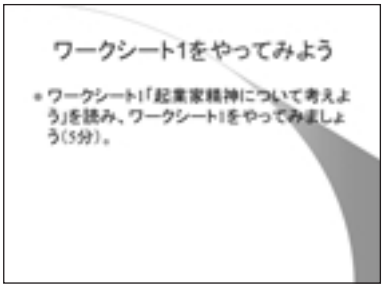
今回は集まっていただいた先生方には、第1編第1章「経済社会の変化と起業家精神」の一部とワークショップ1「起業家精神を考えよう」および、第2編「商品企画に挑戦」の一部とワークショップ5「日常性格商品・サービスの問題点・改善案を考えよう」に取り組んでいただきました。

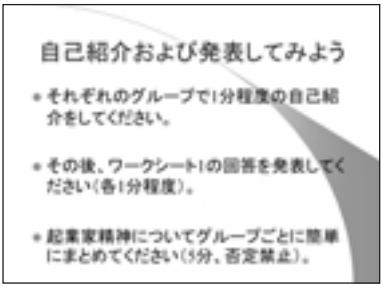
３）ワークショップ

①第１編第１章「経済社会の変化と起業家精神」およびワークショップ１「起業家精神を考えよう」

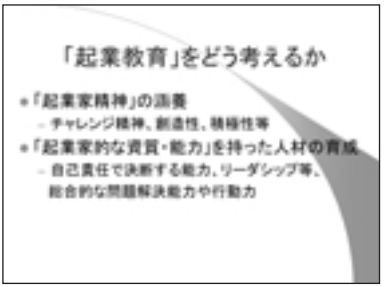
ここでは、グループごとに１分程度の自己紹介をおこなったうえで、『ワークブック』第１編第１章ワークシート１の回答を、各１分程度、報告していただきました。そのうえで起業家精神についてグループごとに簡単にまとめてもらいました。これは５分間で、否定的な発信は禁止いたしました。

その上で、『ワークブック』の序章より、本学の考える起業教育について説明をいたしました。つまり私たちの考える起業教育は、アントレプレナーシップ、すなわち「起業家精神」と「起業家的な資質・能力」をもった

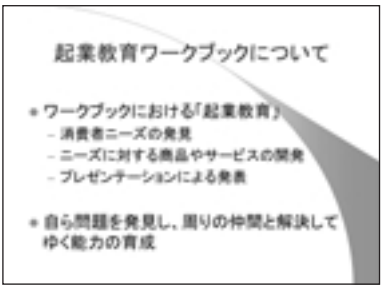




人材を育成することであることを説明しました。そして、「起業家精神」とは、チャレンジ精神、創造性、積極性、探究心であり、「起業家的な資質・能力」とは、自己責任で決断する能力やリーダーシップ、コミュニケーション能力、情報の収集・分析能力・それに基づく判断力、問題解決能力や行動力であるということも事例を通して説明しました。

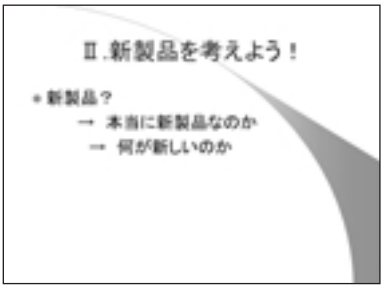


そして『ワークブック』では、消費者ニーズの発見やニーズに対する商品やサービスの開発、そしてプレゼンテーションによる発表などを通じて、自ら問題を発見し、周りの仲間と解決してゆく能力を育成してゆくものであること、つまりこれらの活動を通して「起業家的な資質・能力」を身につけてもらおうとしたものであることを体験していただきました。



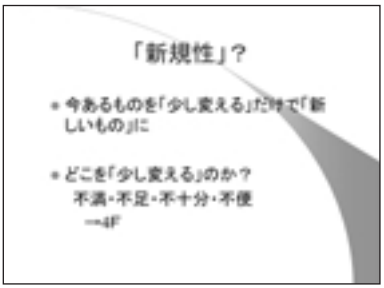
②第２編「商品企画に挑戦」およびワークショップ５
「日常性格商品・サービスの問題点・改善案を考えよう」

ここでは「新製品」について考えてもらいました。「新製品」とは本当に新しい製品なのか、その場合、「何が」新しいのかということです。実は私たちの身の回りに出てくる「新製品」の中には「全くすべて新しい」ということはほとんどありません。今あるものの「一部を」「変える」だけで「新しいもの」になっているものが多いのです。

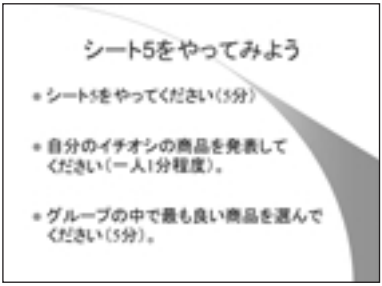


それでは「どこを」変えればよいのでしょうか？

私たちが『ワークブック』で取り上げているものは、「４Ｆ」と読んでいる部分です。つまり今あるモノやサービスの、「不満」・「不足」・「不十分」・「不便」な部分を変えてあげましょうということです。この言葉の頭文字をローマ字読みで集めたものが「４Ｆ」なのです。



そしてワークシート５をやってもらいました。その上で、自分のイチオシの商品を、グループごとに一人１分程度で、発表してもらいました。そしてグループの中で最も良い商品を選んでもらいました。ここにはワークシート５の一部をあげておきます。



ワークシート５「日常生活商品・サービスの問題点・改善案を考えよう」
　＊生活場面をイメージし、商品サービスの問題点・改善案を考えよう

生活場面 (生活行動)	利用している 商品やサービス	問題点（不満・不足・ 不十分・不便）	改善案
事　例	携帯電話	バッテリーが切れると使用できなくなる。	ソーラー電池付きの携帯電話を開発する。
起　床			
朝　食			
身だしなみ			
登　校			

　そしてグループの中で最も良いものを選んだら、そのアイディアを、ワークシート６を使用し、グループメンバー全員で具体的な企画まで発展させてもらいました。

　ここでは具体的にターゲットとなる消費者を考え、それを踏まえた上で、５Ｗ２Ｈにそって、どのような商品・サービスを（What)、何のために(Why)、どのような時に（When)、どのような場所で（Where)、どのように（How）販売するかを考えてもらいました。

ワークシート6 **WORKSHEET-6**

年　組　番　■名前

(2)アイディアを具体的な企画にしよう。

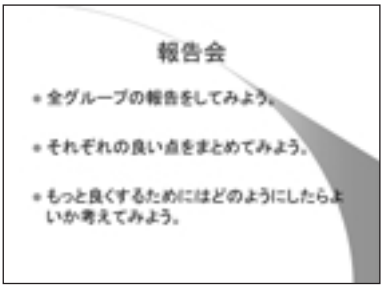
誰に (Who)	ターゲット <例> 小学生	
何のために (Why)	ニーズ・必要性 <例> 中小企業のまちと、人工衛星に代表される「ものづくり」への興味を高めるため	
何を (What)	商品 <例> 「まいど1号」のベビーカステラ	
どんなとき (When)	時期・機会 <例> 市民祭りなどの地域のイベント	
どのような場所で (Where)	場所・場面 <例> 市民祭りなどの地域のイベント	
どのような方法で (How)	販売方法やプロモーション <例> 人工衛星などのかぶりものでまちに興味を持ってもらう。「まいど1号」や地場産業の展示をする。	
どのような予算で (How much)	価格・数量 <例> 子どもが買える100円以内	(時間があれば、考えてみよう！)

③プレゼンしよう！

ワークショップの最後として、これまでまとめた商品を全員の前でプレゼンテーションしてもらいました。時間は5分と決めました。そして使用するものはテーブルの上に用意したA4の白い紙と５色のマジックインキのみです。できるだけ制約のある中で、他のチームに負けないようにアイディアを出してもらいました。

淡々と説明するチームがある一方で、演劇スタイルを取るチームもあり、最後は拍手で終了となりました。本来はここで会場の全員で点数をつけたりもしますが、今回はここまでとさせていただきました。





５．まとめ

今回は短い時間でありましたが、実際にワークブックを使用したワークショップを体験していただきました。従来の授業とは大きく異なっているため、戸惑われる方々も見受けられましたが、最後にはにこやかに立ち去られる姿が印象的でした。

時代が大きく変わり、教育も変化が必要とされる時代においては、起業教育に対する意識も変わってゆくことは否めません。しかしながら起業教育や起業家精神といったものに対する必要性というものは大きく変わることはないと私たちは考えております。なぜならば時代の変化を生み出すのも「人」ですが、その変化に立ち向かおうとするのも「人」だからです。変化への対応に必要とされるのは、自己責任で決断する能力やリーダーシップ、コミュニケーション能力、情報の収集･分析能力・それに基づく判断力、問題解決能力や行動力、つまり「起業家的な資質･能力」であると考えるからです。

＜参考文献＞

・大阪商業大学起業教育研究会編『高校生のための起業教育ワークブック
　―ベンチャースピリッツを育むために―』大阪商業大学、2005年
・佐々木保幸、南方建明、古沢昌之、酒井理『大学生のためのアントレプ
　レナーシップ入門』大阪商業大学、2007年